

連載：第42回 亀ちゃんにも言わせてよ！

まず大人から

大人が変われば

「大人が変われば、子どもも変わる」。これは社団法人青少年育成国民会議が中心になって行っている運動の標語です。その運動の柱の一つに『まず、大人が変わる』啓発活動』があります。それは「すべての大人が“まず、自分から変わらなければ”と気づき、行動する運動」となっています。

さて、世間の多くは最近の子どもは悪くなったと思っている（マスメディアの影響が大きいと思います）ようですが、子どものことをどうこう言う前に私たち大人自身はどうなのでしょう。

駅で

私は毎日通勤等で電車に乗ります。何時の頃からか気になり始めているのが、電車を降りるときに、まだ降りる人がいるのに強引に乗車しようとする人と遭遇することが多くなったことです。以前TVで、“電車に乗るときに東京の人は整列乗車するが大阪の人は整列乗車しない”ということを取りあげた番組を見ました。だから、初めのうちは「大阪の人かな、文化の違いだな」と勝手に納得していましたが、でも、よく見るとそういうことではないようです。大阪の皆様、根拠のない思いこみをしてごめんなさい。何時の頃からか、他人のことより我先に乗車する（正確には座席に座りたい）人が増えてきているようです。私が小学生の頃にもそういう人を見かけることはありましたが、こんなにも頻繁に見かけた記憶はありません。

たんにマナーの問題だけでなく、降りる人が一通り降りてから乗った方が、混乱なく短時間

でみんなが乗降できるので合理的なように思うのですが、自分の気持ちだけで物事を判断し周囲の状況を判断材料に入れない人が増えているのではないのでしょうか。

図書館で

最近、図書館の本や雑誌の一部が切り取られたり、書き込みなどの被害が広がっていると言われています。これらも今に始まったことではないと思いますが、最近は堂々とカッターで雑誌のページを切り取っている人もいます。そのような人は、公共の物を大切に使うとかいうレベル以前に、公私の場の区別がついていないようです。

そう言えば、電車の中で携帯電話を使っている大人もよく見かけますが、やはり公私の場の区別がついていないようです。どこで構わず我が家にいるような振る舞いをする人たちが増えているように思えます。

居酒屋で

忘年会シーズン となりましたが、近頃、居酒屋で子ども連れの客がいるのを見かけることがあります。私がよく見かけるのは複数の親子のグループです。しかも、どう見ても小学生以下、なかには乳幼児の姿も見受けられます。そう言えば、一時期、パチンコ店に乳幼児を連れて行く親がいて、いろいろと事件・事故につながり問題となっていましたね。今では多くのパチンコ店で“乳幼児連れはお断り”という注意書を入口に掲げているようですが、居酒屋では未成年お断りだけで、子ども連れお断りの注意書は見かけません。いずれにしても、ほんら

い子どもが出入りするような場所ではない所に、保護者がいっしょなら良いと言えるのでしょうか。親同士が遊びたいからといって、居酒屋でも酒を飲ませなければ良いのか疑問です。子どもと飲食するなら敢えて居酒屋でなくても良いのではと思いますが、子どものことより自分の楽しさの方が優先なのでしょうか。そういった人たちは、他人どころか自分の子どものことすら顧みない、気にしない、何よりも自分が一番大切ということなのですかね。自分を大切にすることは悪いことではないけれど、そこには他者との関係があるということは理解していただきたいものです。

気づくのかな

「まず、自分から変わらなければと気づいて」欲しい人が本当に気づいてくれるのか心配です。急がば回れで、地道に啓蒙活動をしていか

なければならぬことは十分わかっているつもりでも、教育基本法改正や少年法改正の動きを見ていると、多くの大人の関心は自分に直接関わることだけに向けられ、他人には子どもといえども厳しい非難ばかりを向けているようで、時として無力感に囚われます。“人の振り見て我が振り直せ”と言いますが、“子どもの振り見て大人の振り直せ”と声を大にして言いたいです。あきらめずに言い続けましょう。「まずは大人から変わろう」と。

亀山憲一 [会員・フリーで活動中の法学研究者
(犯罪学・刑事法)]

お断り

この原稿は、昨年12月号に掲載予定として、先月書いて頂きましたが、12月号が緊急特集号となったため、今月に掲載させていただきました。